



賀正

新春インタビュー

「カレッジ16年目に向けて」

運営委員長 山田 治己

☆昨年を振り返ってひと言を

明けましておめでとうございます。コロナ禍が収まりつつある令和5年は、主催講座・15周年記念特別講座、まちの先生企画講座含めて計18講座・47回を実施しました。コロナの影響も残り、受講者が少なく悩んだ一年でした。しかし特別講座には72名の皆様に受講をいただき、受講者のニーズに合った講座の企画が大切なことを改めて認識しました。



☆新年を迎えての抱負を

予定講座をしっかりと実施することが一番大切なことと思っています。いしかり市民カレッジは今年16年目を迎えます。市民の皆様に信頼され市民の皆様とともに講座を作り上げていくため今年もカレッジ生のニーズをしっかりと受け止め、魅力のあるカレッジを目指したいと思います。

☆カレッジ生へのメッセージを

カレッジ生がどんな講座を期待しているのか、どんな講師を求めているのか、運営委員が一番知りたいことです。ともに講座を作ることを目的に、カレッジ生との交流の場でご意見を聞く機会を作りたいと思います。

まちの先生企画講座

講座5 「榎本武揚～科学技術者にして明治近代化の万能人」

講師 徳田 昌生

- 第1回 「科学技術者としての活躍」
日時 2月27日(火) 10:30～12:00
- 第2回 「明治近代化を支えた万能人」
日時 3月5日(火) 10:30～12:00
- 第3回 「榎本武揚の生い立ちと生き様」
日時 3月12日(火) 10:30～12:00
- 場所 石狩市花川北コミュニティセンター



江別「榎本公園」

◇榎本武揚といえば、徳川幕府の海軍副総裁や箱館五稜郭での戦いの敗軍の将というイメージが一般的と思われますが、実は科学技術に深い造詣をもち明治の近代化に大きく貢献した優れた人物です。いくつかの工業を興し、いくつかの学会の創設に関わり会長なども務めた科学技術者ですが、国際性豊かな外交官、複数の大臣を務めた優秀な政治家、東京農業大学を設立した教育者などの顔も持つ明治近代化の万能人です。講座では、そのような人物を生んだ背景や蝦夷共和国の夢など、榎本武揚の様々な姿をご紹介します。

村山家10代目・村山さんを講師に

開校15周年記念特別講座を盛会裏に開催しました

当カレッジは去る10月24日、花川北コミュニティセンターにおいて開校15周年を記念した特別講座を開催しました。

講師は石狩市郷土研究会会長の村山耀一さん。70名を超える受講者を前に「江戸期から明治期における石狩の歴史について知ろう」と題して、鮭献上箱・石狩弁天社のほか多くの古文書等から、能登の人・村山傳太夫によって石狩発展の基礎が築かれたことなどを紹介、石狩とのかかわりの深さや村山家の盛衰を分かりやすく説明されました。

受講者からは、「村山家の歴史がよく理解でき、石狩市があるのは村山家の歴史とかわりがあることが理解できた」などの声も寄せられ、盛会裏に終わりました。



令和6年度の講座概要がまとまりました

主催講座12・まちの先生企画講座4～多岐にわたるテーマを予定しています

このたび4月からスタートする令和6年度の講座概要がまとまりました。受講者からの提案並びに運営スタッフ提案の中から諸会議を経て、主催講座についてはほぼ例年並みの年間12講座、講座回数31回に絞りました。このうちバスを利用した見学学習は5回予定しています。

コース別にみると「教養文化コース」が8講座と最も多く、次いで「いしかり学コース」が3講座、「地域企業コース」が1講座となっています。

「教養・文化コース」では、アイヌの歴史など歴史に関連した講座のほか、最近被害が増加しているヒグマ・エゾシカをテーマとした講座や日本遺産となった空知の炭鉱遺産、さらに隣国韓国を学ぶ講座など多岐にわたっています。「地域企業コース」では今話題の石狩を含めた北海道バレー構想にスポットを当てた講座も企画。地元のことを学ぶ「いしかり学コース」では石狩歴史散歩を継続します。

また、まちの先生企画講座についても昨年同様に4講座を予定しています。皆様ご期待ください。



〔日経新聞より転載〕

令和6年度 主催講座の概要

コース名	講座名
いしかり学	石狩歴史散歩～石狩本町地区を巡る
	石狩海岸を知る
	札幌と石狩をつないだ水路
教養・文化	国宝になった白滝遺跡群出土品
	アイヌの歴史
	外国人労働者の雇用と暮らしの実状
	北海道米を巡る3つの物語 ～北海道が優良食味米の大産地となったのはなぜか？
	日本遺産～空知の炭鉱遺産を訪ねて
	素顔の韓国～隣国をもっと知ろう
	野生動物の暮らしと私たち
	太平洋戦争に翻弄された道民史
地域企業	北海道バレー構想と石狩 ～半導体・データセンターそしてIT産業など

令和6年度まちの先生企画講座概要

講座名
わが子のパーソナルトレーナーになろう！
絵本セラピー
手づくり食品の楽しみ
羊飼いの生活

第27回修了証授与式 3月中旬開催予定

「学びの記録」を確認され所定のスタンプ数を取得されている方は申請書を事務局に提出してください。申請されたカレッジ生には案内状を送付します。

◇新年交流会を開催します カレッジ生のみなさん、奮ってご参加下さい！

新年交流会を下記のとおり開催します。カレッジ生のみなさんと歓談しながら交流を深めたいと考えています。多くのご参加をお待ちしています。

日時 1月25日(木) 18:00より

会場 石狩市民プール2階 会費 2,500円

※申込は、事務局(Tel&Fax0133-74-2249)へ1月10日(水)までをお願いします。

「カレッジ生」年度更新手続きのお願いです



いしかり市民カレッジの運営経費は、カレッジ生の年度会費(1,000円)と受講料で賄われています。令和6年度も引き続きいしかり市民カレッジを支えて頂き多くの講座を受講ください。

★更新手続きの方法は下記のいずれかをお願いします。

- A 市民カレッジ事務局へ持参(石狩市民図書館内 社会教育課)
- B 主催講座・まちの先生企画講座会場へ持参
- C ゆうちょ銀行窓口での払込

口座名: いしかり市民カレッジ運営委員会 口座番号: 0278-3-98172

・更新手続きは4月末までをお願いします。

受講者の声

講座終了時に受講者の皆さんからいただいたご感想・ご意見の一部を要約して紹介しています。

講座 10「北海道の神社を知ろう」

「大変おもしろく興味深い内容でした。北海道の開拓の歴史と深い関係があり私達の生活にかなり密着した神社のなり立ちや歴史に気づきました」「普段何気なく神社にお参りしているが、そこに祀られている神様の由緒がいろいろ知ることができて大変楽しかった」「身近に見られる『地神碑』開拓民の心の支えとして作用しており、その歴史的背景を知ることができ大変意義深かった」



講座 11「ラッコと鯨が招いた日本開国史」



「大変明確な分かりやすいお話で興味深く楽しく受講出来ました」「この時代のこと・人物について学び直してみたいと思いました」「このたびの講座は大変有意義で楽しく学ばせていただきました。分かりやすい言葉、お話の仕方で身近に時代を読めることに感謝しています」「大変興味深く、今後も受講機会の企画をお願い致します」「歴史の面白さを再確認しました」「本当に楽しい歴史講座でした。ありがとうございました」

まちの先生企画講座 3「自分だけのハンドメイド雑貨」

「大変楽しくみんなと一緒に出来たこと、とても良かった」「初めての体験！親身の手ほどきに救われ完成しました」「色々迷って自分のセンスの無さにガッカリしたがそれなりに出来て良かった」「あっという間の1時間半、日々忙しい中で手を動かす時を与えて頂き有難うございました。布や針、糸に触れ、心が満たされた」「久しぶりに針を持った。可愛い物が仕上がり台所に立つのが楽しくなりそう」



まちの先生企画講座 4「ミツバチとハチミツを学ぶ」



「ミツバチの働きと植物の生態など大変勉強になりました。それぞれが命をつなぐ働きがあり、小さなミツバチが小さなお花に何度も通って集めたハチミツ。彼らの大事な食べ物であり、越冬するための保存食なのを私達はおすそ分けしていただいていること、それを忘れずに大事にいただきます」「とても勉強になりました、以前からとても興味を持っていたので楽しみに参加しましたが、ますますハチや花など自然の生態系にありがたさを感じています」

講座から生まれたサークル活動紹介

～講座からサークルへ、そしてまちづくりへ～それが市民カレッジの願いです

◇「すずめの会」

令和元年度講座「女性のための初心者健康マージャン」からサークル化。現在会員 32 名。「楽しくやってみんな元気で～す」(すみ子さん)「脳トレになるし、仲間が出来るよ」(よし子さん)「次の1週間が待ち遠しいよ」(とも子さん)

例会：毎週木曜日午前(学び交流センター)

会費 3,000 円/月 問合せ 蒲原さん 090-7196-3249

◇「己筆文字サークル」

令和5年度講座「筆ペンで味のある文字を描こう」からサークル化。現在会員 6 名。「文字の形にこだわらず好きに書けるのが良い」(えつ子さん)「うまいへたは関係ないのがいい。毎日書けば元気になるよ」(うるちゃん)「仲間が出来ましたあ～」(えい子さん)

例会：第3火曜日午前(学び交流センター)

会費 2,200 円/1 回 問合せ 安井さん 090-6871-0926



ひろば

ISHIKARI
CITIZEN'S
COLLEGE

チョコっと
いしかり学
《26》

紅葉山 33 号遺跡の飾り弓

石狩ファイル 0051-01 (2005/9/25)
発行 石狩市教育委員会

もみじやまさんじゅうさんごういせきのかざりゆみ

紅葉山 33 号遺跡は、石狩市花川南 6 条 5 丁目の花川南公園内にあります。この遺跡は 続縄文時代前半期の墓地で、年代は今から 2000 年前ごろと推定されています。1982 年の発掘では、32 基の墓が検出され、多数の副葬品が出土しました。これから述べる飾り弓も副葬品の一つです。



飾り弓とは、弓全体に赤や黒の漆を塗って、美しく飾られた弓のことをいいます。飾り弓が出土した墓は第 46 号墓で、直径約 160cm、深さ 75cm の円形をしていました。この墓は、飾り弓のほか土器、石器など 200 点を越える遺物が出土しました。飾り弓は、墓穴の一番底にあり、遺体の横の台状に砂を掘り残した部分に安置されていました。この種の弓は、実用的な弓でなく、儀礼あるいは権力の象徴など儀礼的な弓といわれています。ですから、台を作って安置したのも、飾り弓の性格が反映していると考えられます。

この飾り弓の製作工程は、白木に木炭粉を塗りその上に赤漆を塗って完成させています。さらにその後、部分的に糸を巻いてその上に 2 個一対になった紋様をつけています。普通、飾り弓は赤や黒漆を塗るだけで、紋様などにさらに装飾を加えたものはごく稀です。しかも 11 個も紋様があり、弓のほぼ全体の形状がうかがえるものは日本で唯一です。



弓に描かれている紋様は、四角い縁取りの枠の中に渦巻き紋を基調としたものです。渦巻き紋には、1 個の渦巻き紋と左右別々に巻く 2 個組みの渦巻き紋の 2 種があります。渦巻き紋は、縄文時代晩期 (3500 年前から 2500 年前)、東北地方や北海道で発達しますが、この飾り弓の渦巻き紋様は外側にトゲ状の突起がつく珍しいものです。これはアイヌの基本的紋様「アイウシモレウ」(矢をもつ渦巻き紋) に酷似しており、アイヌ紋様の原形ではないかとも考えられています。(石橋孝夫)

【参考文献】

- (1) 石橋孝夫ほか(1982)紅葉山 33 号遺跡発掘報告書 石狩町教育委員会
- (2) 北海道新聞社(1981)北海道百科事典 北海道新聞社

◇スタッフ募集説明会開催～1名の加入が決定！

10月24日(火)の15周年記念特別講座の終了後に花川北コミュニティセンターでボランティアスタッフ募集説明会を開催しました。4名の方にご参加いただき、市民カレッジができた経緯や仕組み、スタッフとしての活動内容などを説明し、是非一緒に活動しましょうとお誘いしました。

スタッフの新規加入がなければ市民カレッジを今後継続して行くことも難しくなるとの私たちの強い気持ちを訴えました。その結果、うれしいことに、1名がスタッフとして加わっていただけることになりました。

編集後記

カレッジ生の皆様、明けましておめでとうございます。令和5年度の講座も残すところ「まちの先生企画講座5」のみとなりました。今年は辰年ということで、昇竜の如く「いしかり市民カレッジ」が益々発展し活躍する場となるようカレッジ生の皆様と歩んでいける年にしたいと考えております。G.K

市民カレッジデータ

(1月1日 現在)
○登録者 124人
○連携団体 103団体



ロゴ・丸山英里子さん

■発行 いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当：鈴木、石井、門間、徳田、西、森

■お問合せ 社会教育課 (石狩市民図書館内)

石狩市花川北 7 条 1 丁目 26 TEL & FAX : 0133-74-2249

ホームページ [いしかり市民カレッジ](#) [検索](#)